神奈川自然誌資料 (27):65-66 Mar.2006

三崎魚市場に水揚げされた魚類ーXV

山田和彦・工藤孝浩

Kazuhiko Yamada and Takahiro Kudo: Fishes on Misaki Fish Market Landed from Sagami Bay, XV

Summary: Ichthyofauna of Sagami Bay has been researched by landing fishes of Misaki Fish Market, and 564 species has been recorded since 1986. In the present paper, three species are additionally recorded. *Takifugu xanthopterus* and *Torquigener brevipinnis* are of rare occurrence in the Bay.

はじめに

筆者らは相模湾の魚類相を明らかにするために，三崎魚市場において周辺海域の漁獲物調査を継続している。これまでに 564 種を記録したが（山田・工藤，2005），三崎魚市場の調査で新たに記録された 3 種について報告する。

調査方法

三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち，相模湾で採集されたものについて，種類，採集場所，採集方法を記録した。調査期間は 2004 年 11 月から 2005 年 10 月までの 1 年間である。1ヶ月平均 2 回，合計 23 回の調査を行った。ここでいう相模湾とは，伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち，観音崎－富津岬以北の東京湾を除く海域である。採集場所の名称を図 1 に示す。標本として採集した魚は，新鮮なうちに写真撮影したのち 10%フォルマリンで固定した。標本は横須賀市自然・人文博物館に魚類資料（YCM-P）として登録し保存した。

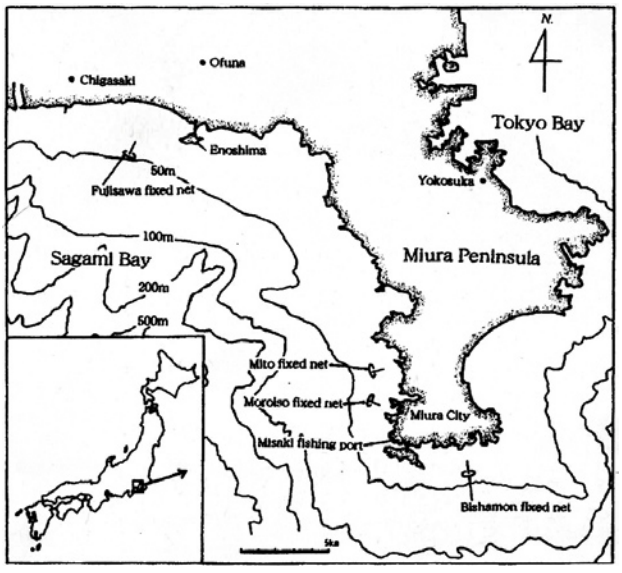

図 1. 採集地および周辺海域の水深

海況について

調査期間中の相模湾付近における海況は概略次のとおりであった。黒潮は，10 ～ 4 月に遠州灘沖に冷水塊を伴う大蛇行型の安定した流路を保ち，伊豆列島の西側を北上して急に東へと向きを変え，八丈島から新島の間を流去した。冷水塊は 5 月から東へ動き，7 月末に八丈島と御蔵島の間を抜けて消滅した。その間，黒潮の流路は八丈島の南側を大きく迂回し，冷水塊が消滅した 8 月以降も引き続き八丈島の南側を流去した。相模湾の水温は，3 月まで平年並みから 2℃高めで経過し，4 ～ 6 月は平年比 1℃以内の幅で高温・低温を繰り返していたが，7 月は平年比 1℃前後低めとなり，8 月は平年比 2℃以内の幅で高温・低温を繰り返し，9 月は平年並みから 1℃高めとなった。

調査結果

新たに記録された魚類について，通し番号，和名，学名，図版番号，採集年月日，採集場所および採集方法，体長（SL），登録番号，分布記録などの順に記載した。和名，学名および一般的な分布記録は中坊編（2000）に従った。

565. ダルマオコゼ *Erosa erosa*（図 2-1）
2005 年 9 月 14 日，毘沙門定置網，SL120mm，
YCM-P 38515

本州中部以南，インド・太平洋の温暖海域に分布する。相模湾では三崎（Jordan and Starks,1904），佐島（林・

伊藤，1974），城ヶ島（工藤・山田，2005）から記録があるが，比較的稀である。本種は底棲性のため，遊泳力が乏しい。また，本個体が採集された時期に大きな海況の変化もないため，本種の出現に海況の影響は少ないと思われる。

566．シマフグ *Takifugu xanthopterus*（図 2-2）

2005 年 9 月 14 日，藤沢定置網，SL317mm，YCM-P 38513

相模湾以南，東シナ海まで分布する。相模湾では葉山，三崎（Abe，1949），佐島（林・伊藤，1974）館山（林・伊藤，1974），下田（伊藤，2003）から記録がある。しかし，三崎市場での 20 年間の調査では，これまで確認されておらず，また，本個体が採集された時期に黒潮は相模湾から遠ざかっていたことから，本種の相模湾での分布は偶来的なものと思われる。

567．シッポウフグ *Torquigener brevipinnis*（図 2-3）

2005 年 9 月 14 日，毘沙門定置網，SL135mm，YCM-P 38514

本州中部以南に分布する。伊豆半島周辺（瓜生，2002），小田和湾（清水，1979），長井（神奈川県水試，1975），相模湾（鈴木・岸，1982）から記録がある。本個体は，黒潮が相模湾から遠ざかっているときに採集されたが，海況との関連は不明である。

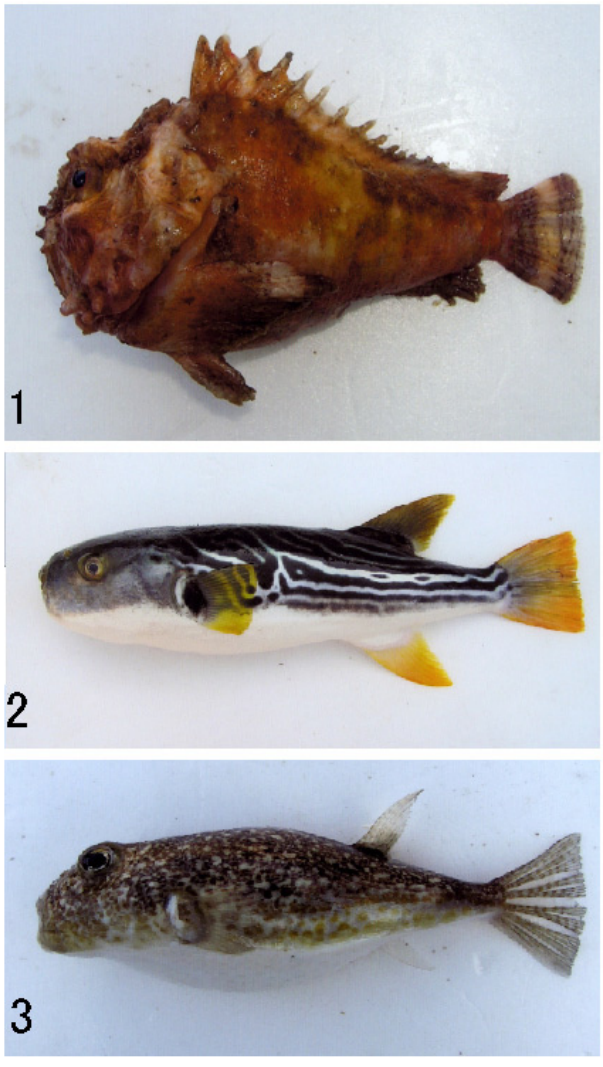

図 2
1：ダルマオコゼ *Erosa erosa*, YCM-P 38515, SL120mm；
2：シマフグ *Takifugu xantpterus*, YCM-P 38513, SL317mm；
3：シッポウフグ *Torquigener brevipinnis*, YCM-P 38514, SL135mm

おわりに

本報告を作成するに当たり，標本登録の便を図ってくださり，種々ご教示いただいた横須賀市自然・人文博物館の萩原清司氏，資料収集にご協力いただいた丸夕丸，丸共丸，共栄丸，諸磯丸，万七丸，三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

文　献

Abe, T., 1949. Taxonomic studies on the puffers (Tetraodontidae, Teleostei) from Japan and adjacent regions. Ⅴ. Synopsys of the puffers from Japan and adjcent regions. Bull. biogeogr. Soc. Japan. **14**(1): 84-140.

林公義・伊藤孝．1974. 館山湾南部（沖ノ島・鷹ノ島・西岬・洲崎）にみられる魚類について．横須賀市博物館雑報，(19): 18-30.

林公義・伊藤孝．1974. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類．横須賀市博雑報，(20): 37-50.

伊藤勝敏，2003. 伊豆の海改訂版．データハウス，東京.

Jordan, D. S. and E. C. Starks. 1904. A review of the scorpaenoid fishes of Japan. Proc. U. S. Natn. Mus., **27**(1351): 91-175.

神奈川県水産試験場，1975．マダイ編．太平洋中区栽培漁業漁場資源生態調査報告書（マダイ・ヒラメ），1-54.

工藤孝浩・山田和彦．2005．三浦半島南西部沿岸の魚類－Ⅵ．神奈川自然誌資料，(26): 79-84.

中坊徹次編，2000. 日本産魚類検索全種の同定第 2 版．東海大学出版会，東京.

清水詢道．1979. 小田和湾の藻場の魚類．相模湾資源環境調査報告書Ⅱ.

鈴木英夫・岸幸広．1982．京急油壷マリンパークにおける採集魚．京急油壷マリンパーク年報，(11): 23-27.

瓜生．2002．生態観察ガイド伊豆の海水魚．海遊舎，東京.

山田和彦・工藤孝浩，2005．神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・ⅩⅣ．神奈川自然誌資料，(26): 85-86.

（山田：相模湾海洋生物研究会，
工藤：神奈川県水産総合研究所）